

# 令和3年度 青年赤十字奉仕団 WEBセミナー（第3回）



令和3年11月5日(金) 19:00~

日本赤十字社茨城県支部

## 研修にあたってのお願い

1. 研修中は**カメラをON、マイクをOFF**  
(発言時はミュートを解除)
2. 名前の変更の実施  
**「大学名（茨大orキリ大） 氏名」**にしてください
3. 研修は**記録用及び配信用として録画**いたします。  
ご理解・ご協力をお願いします



# 献血セミナー

---

はじめに  
今年作成した動画  
「血液センターってどんなとこ？」  
をご覧ください。

# 献血の現状

---



## 献血の現状

1日に平均 **3,000人** が輸血を受けている



- ◆ 輸血に使用する血液は人工的に造れない
- ◆ 偏ることなく毎日 **1万3千人** の献血への協力が必要

# 血液の特性

1

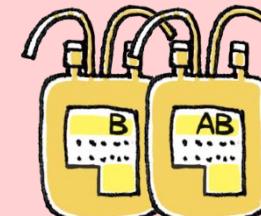
人工的に  
造ることが  
できない

2

長期間  
保存ができない



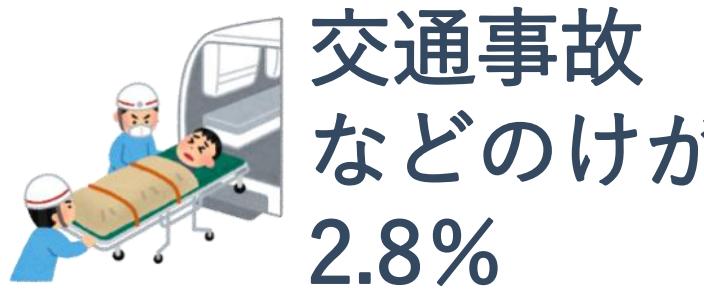
赤血球は  
21日間



血小板は  
4日間

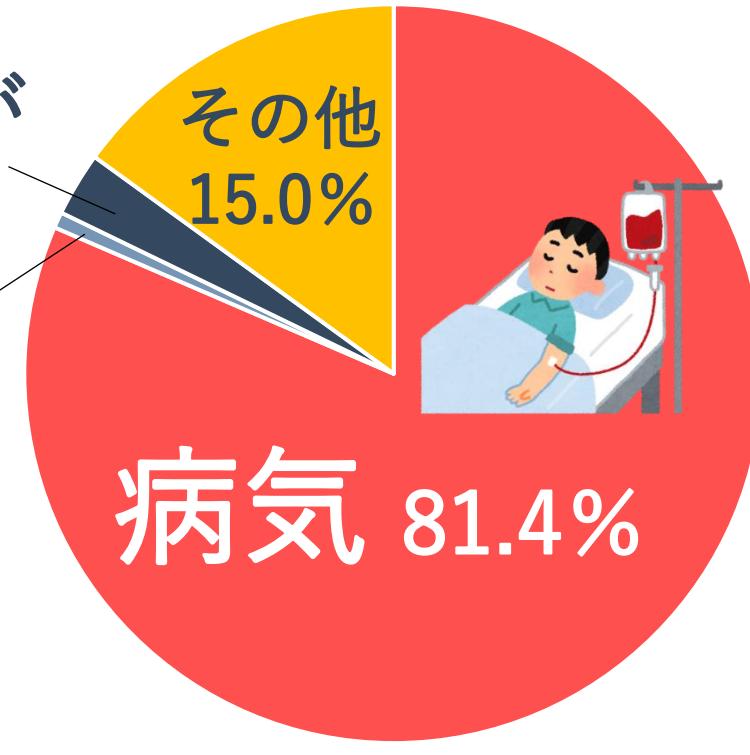
常に、健康な人たちからの献血によって  
輸血に必要な血液を確保する必要があります

# 輸血を必要とする患者さん



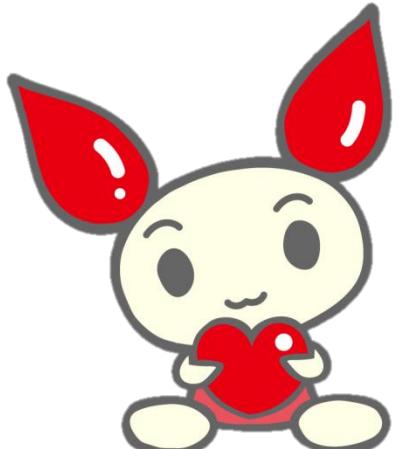
交通事故などのけが  
2.8%

妊娠・分娩  
0.7%



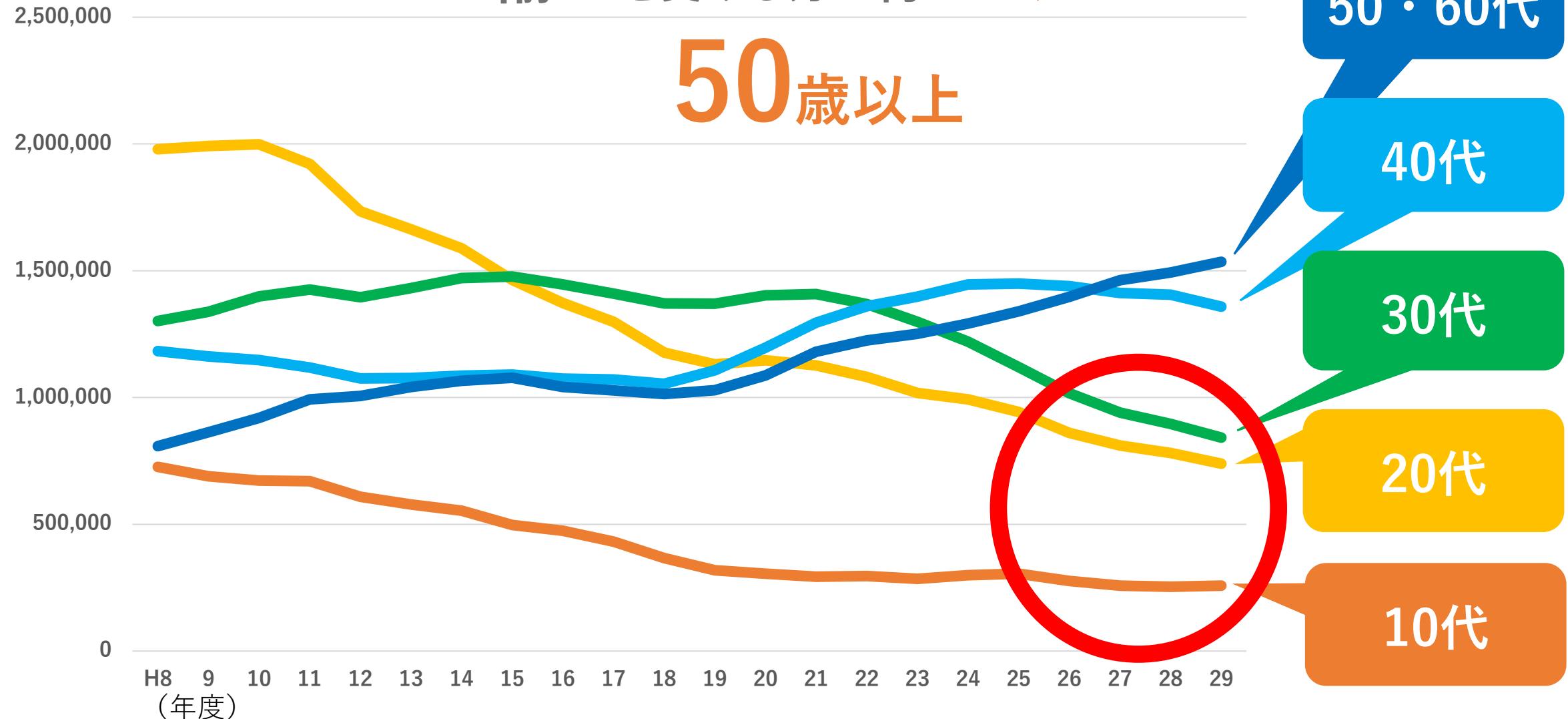
■ 病気 ■ 妊娠・分娩 ■ 交通事故などのけが ■ その他

出血したときより  
治療に使われているよ。  
**定期的なご協力が  
必要なんだっち！**



# 年代別献血者数の推移

輸血を受ける方の約85%は  
50歳以上



出典：厚生労働省「献血者数の推移」より作成

# 若年層の献血の現状

## 10～30代の献血者推移

2009年

約285万人

2018年

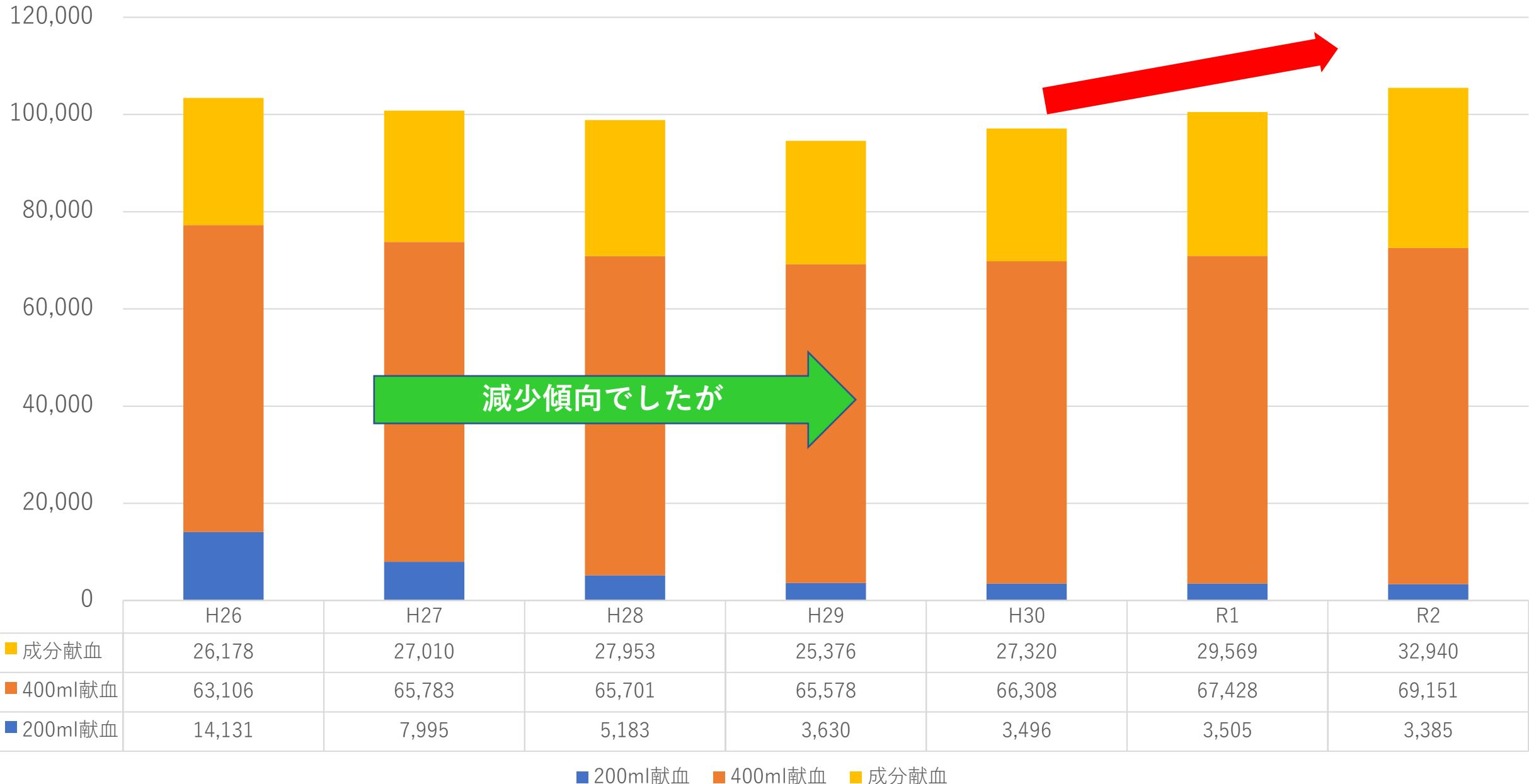
約180万人



10年間で・・・37% も減少

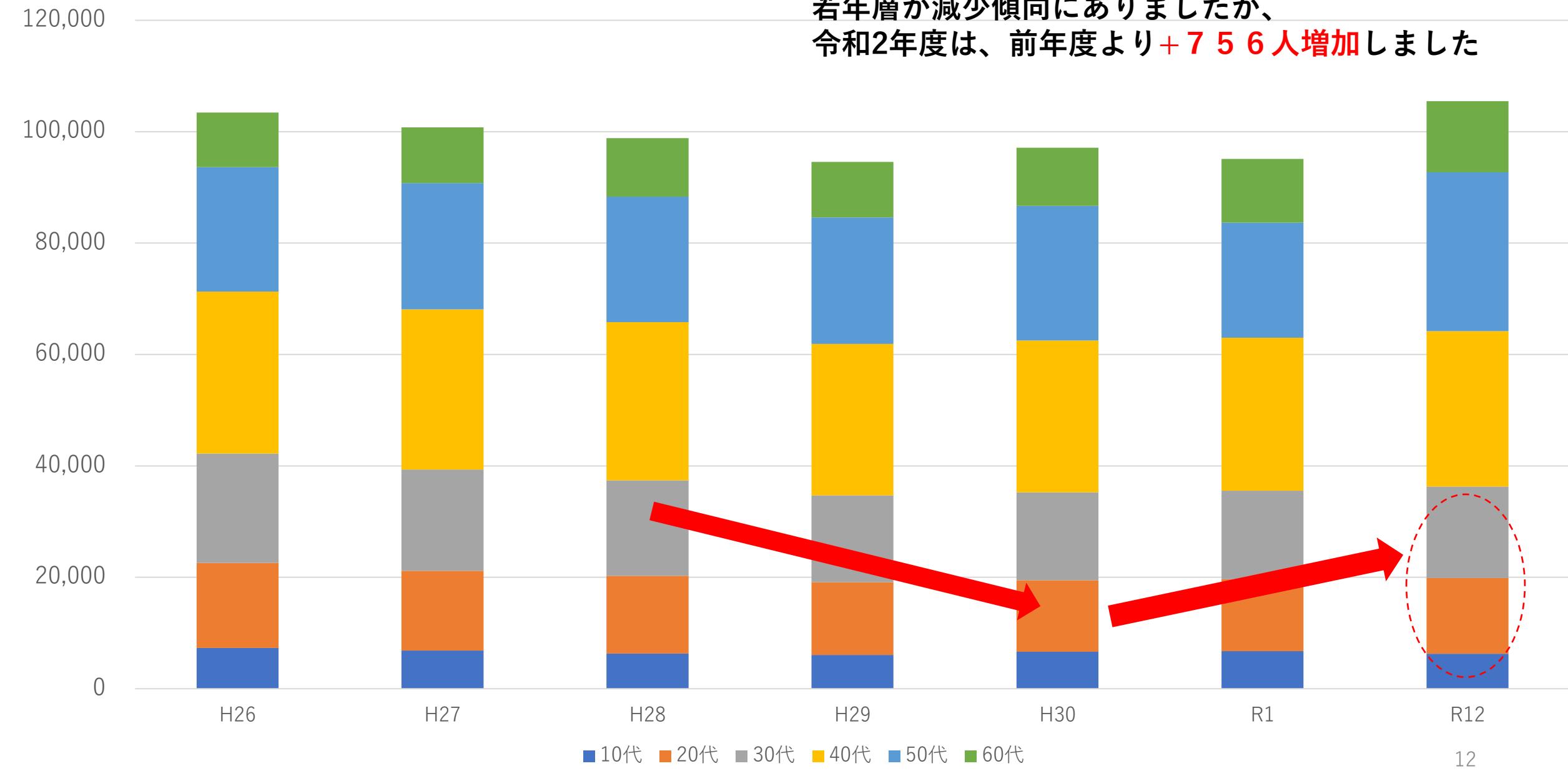
# 茨城県の献血者推移

減少傾向でしたが、3年連続で増加しています。  
令和2年度は前年度より**4,974人**増加しました。

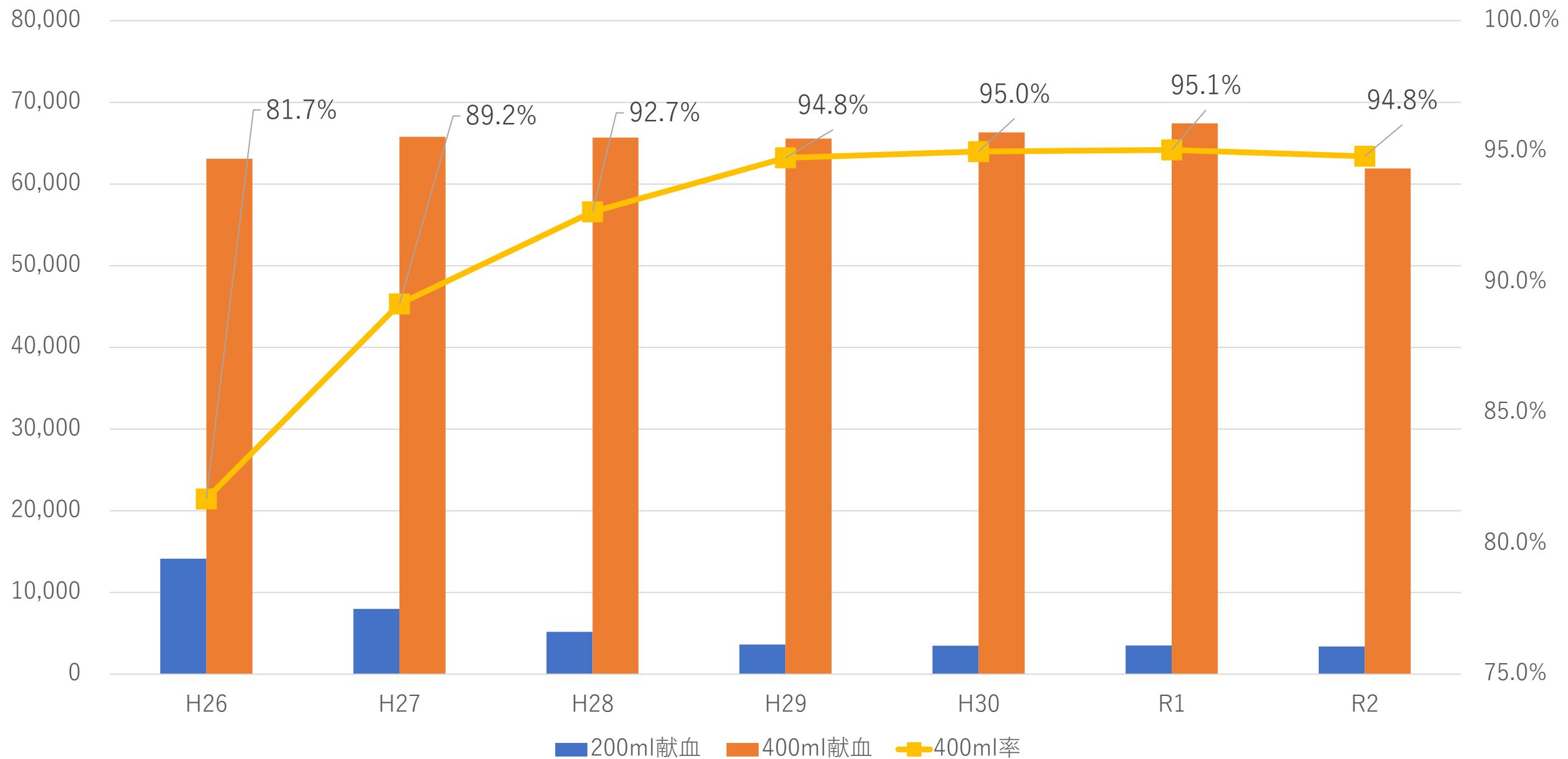


# 茨城県の年代別献血者推移

若年層が減少傾向にありました  
が、令和2年度は、前年度より+756人増加しました



# 茨城県の全血献血者推移



# 献血の種類



# 献血の種類

全血献血

200mL

400mL

成分献血

血しょう

血小板

# 採血の基準



## 採血基準

献血いただく方の健康を守るために、さまざまな基準を設けています。

### 献血方法別の採血基準

献血の種類 項目	全 血 献 血		成 分 献 血	
	200mL献血	400mL献血	血漿成分献血	血小板成分献血
1回献血量	200mL	400mL	600mL以下 (循環血液量の12%)	
年齢	16歳～69歳 <sup>※1</sup>	男性:17歳～69歳 <sup>※1</sup> 女性:18歳～69歳 <sup>※1</sup>	18歳～69歳 <sup>※1</sup>	男性:18歳～69歳 <sup>※1</sup> 女性:18歳～54歳
体重	男性:45kg以上 女性:40kg以上	男女とも 50kg以上	男性:45kg以上 女性:40kg以上	
最高血圧	90mmHg以上			
血色素量 (ヘモグロビン濃度)	男性:12.5g/dL以上 女性:12.0g/dL以上	男性:13.0g/dL以上 女性:12.5g/dL以上	12.0g/dL以上 (赤血球指数が標準域にある女性は11.5g/dL以上)	12.0g/dL以上
血小板数	――	――	――	15万/μL以上
1年 <sup>※2</sup> に献血できる回数 (1年は52週として換算)	男性:6回以内 女性:4回以内	男性:3回以内 女性:2回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して 血漿成分献血と合計で24回以内	
1年 <sup>※2</sup> に献血できる 総献血量 (1年は52週として換算)	200mL献血と400mL献血合わせて 男性:1,200mL以内 女性: 800mL以内		――	――

### 献血の間隔

今回の献血 次回の献血	全 血 献 血		成 分 献 血			
	200mL献血	400mL献血	血漿成分献血	血小板成分献血 <sup>※3</sup>		
200mL献血	男女とも4週間後の同じ 曜日から献血できます	男性は12週間後・女性は16週間後 の同じ曜日から献血できます	男女とも2週間後の同じ曜日から献血できます			
400mL献血						
血漿成分献血		男女とも8週間後の同じ 曜日から献血できます				
血小板成分献血						

採血基準は、献血をご協力いただける方の健康を保護するために、国が定めたもので、採血の実施は、問診結果等を踏まえて総合的に判断します。

※1 65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までに献血の経験がある方に限られます。

※2 期間の計算は直近の採血を行った日から起算します。

※3 血漿を含まない場合には、1週間後に血小板成分献血が可能になります。ただし、4週間に4回実施した場合には次回までに4週間以上あけてください。

# 献血の流れ



# 献血の流れ

## 献血受付



## 問診票の記入



## 問診及び 血圧測定



## Hb濃度測定 血液型事前判定



## 採血



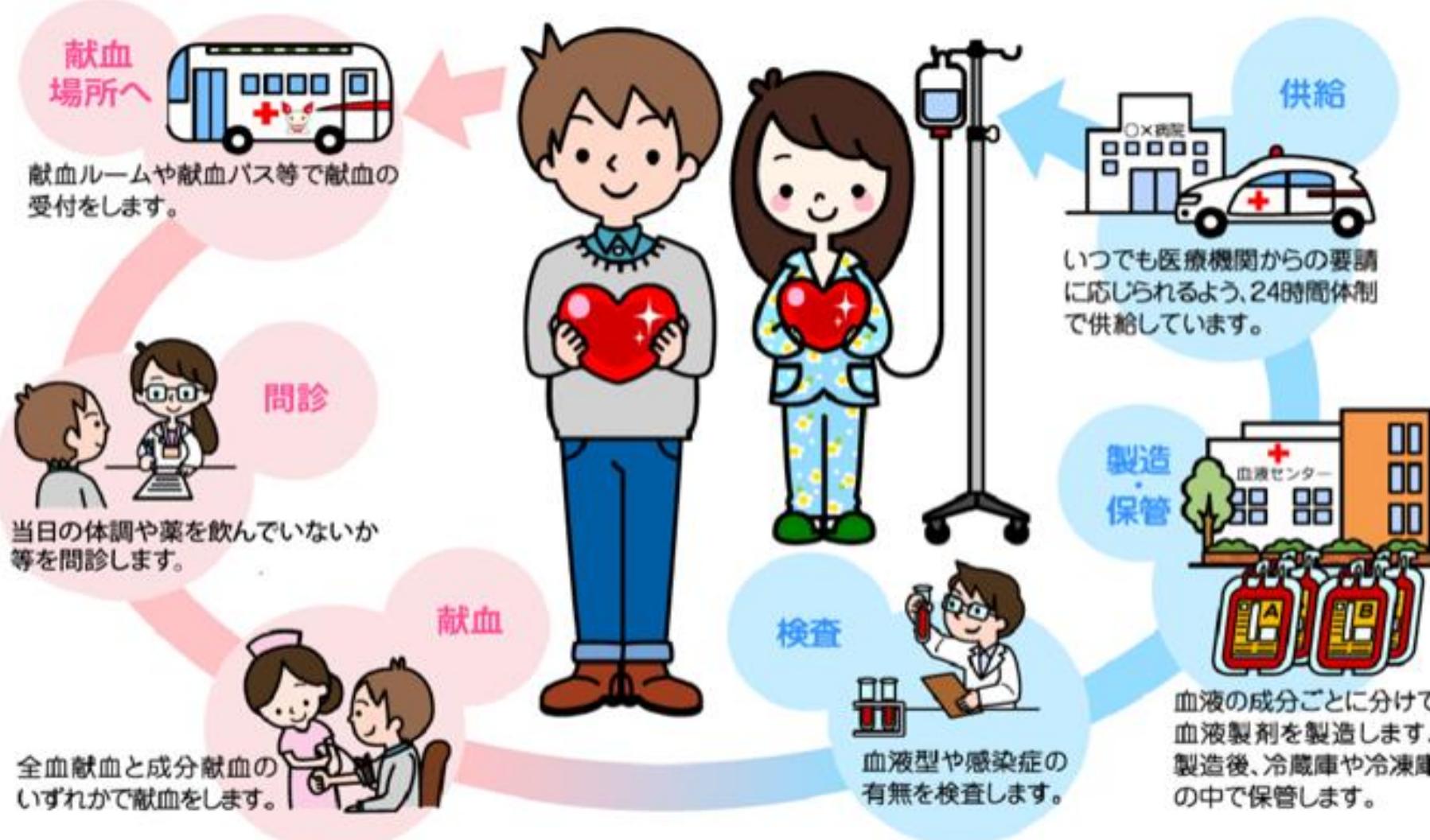
## 休憩



## 献血カード の受け取り



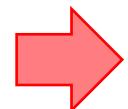
# 血液のゆくえ



# 血液製剤の種類

血液製剤には有効期限が決められている。

製剤名		保存温度	有効期限
赤血球製剤		2～6°C	採血後 <b>21</b> 日間
全血製剤		2～6°C	採血後 <b>21</b> 日間
血漿製剤		−20°C以下	採血後1年間
血小板製剤		20～24°C	採血後 <b>4</b> 日間



在庫状況や医療機関からの要請状況を考慮し、  
効率的に献血者を確保する必要がある。

# 献血できる場所

---



# 茨城県で献血できるところ

献血できる場所は、献血ルームや献血バスなど、全国にたくさんあります。



献血ルーム



献血バス

献血バスは毎日県内を巡回しています。

## 献血に要する時間

献血バスでは全血献血、献血ルームでは全血献血と成分献血を実施しています。要する時間は、400mL献血は1人あたり約30～40分です。（受付から休憩まで）成分献血は1人あたり約40～90分です。（受付から休憩まで）

# 献血者確保の取り組み

---

# 「いこう！献血」キャンペーン



プレゼントキャンペーンや  
SNSと連動したキャンペーンも展開

テレビCMなどを通し、全国に  
「献血」をPR

- ・学生と社会人をターゲットに  
余暇時間での「献血」を提案

【イメージキャラクター】  
ぺこぱ、大政絢、鈴木福、  
宮世琉弥、小南光司

# 茨城県内での広報活動

## 人気アニメとのコラボ



## 地元プロスポーツチームとのコラボ



茨城県公認Vtuber「茨ひより」とのコラボ企画  
令和3年11月6日(土)～令和3年11月30日(火)

# クリスマス献血キャンペーン



- ・毎年、県内のイオンモールを会場で開催

青年奉仕団による  
献血の普及キャンペーン

今年もあります！  
詳細は後日、血液センター担当  
より連絡あります。

# SNSでの広報活動

- Twitter 茨城県赤十字血液センター  
( @ibarakikenketsu )

献血会場や受付時間、  
キャンペーン等を案内

- Youtube 茨城県赤十字血液センター チャンネル  
献血CM 等を配信



# 新型コロナウイルス感染症への対応

---

※詳細は、日本赤十字社のWEBサイトにまとめられています。

[https://www.jrc.or.jp/donation/blood/news/201223\\_006488.html](https://www.jrc.or.jp/donation/blood/news/201223_006488.html)

# 新型コロナウイルスの影響により 献血を実施できなかった会場（令和2年度）

会場数	献血バス	献血者
192会場	166台分 (計画の14%)	約6,500人分 (計画の13%)

# 新型コロナウイルスの安全対策について

## 【職員の健康チェックを徹底しています。】

- 日々の実施している健康チェックに加えて、出勤前・出勤時に体温測定を徹底しています。

## 【職員の手指消毒を徹底しています。】

- 職員の出勤時、献血会場入退室時。
- 献血受付時、問診時、献血カード更新時。
- 看護師は献血者ごとに手袋を交換しています。

## 【献血会場の良好な衛生環境を保持しています。】

- 献血会場にて使用する機材は日々、消毒液を用いて清掃しています。問診時のタブレット操作にはタッチペンをご使用いただき、毎回消毒をします。
- 献血者様には可能な限りマスク着用をお願いしております。
- 献血会場では、入口に備えている消毒液にて手指消毒後、非接触式体温計により体温測定を実施しています。味覚嗅覚の違和感がないか口頭で確認します。（発熱が確認された方については献血会場への入場をご遠慮いただいています。）
- 献血バス側面上窓、後部扉を全開のうえ、換気扇をつけ、車内換気を徹底しています。

## 【三密を避ける対策をしています。※】

- 受付・待合時の対人距離を保つため、イスや机の間隔を調整します。
- 献血バスに搭乗する献血者様の人数を制限します。

# 既感染者の献血受入れ

令和3年9月8日より、新型コロナウイルス既感染者のうち、**症状消失後（無症状の場合は陽性となった検査の検体採取日から）4週間が経過し、回復後に治療や通院を要する後遺症がなく、問診等により全身状態が良好である**ことが確認できれば、献血にご協力いただけることとなりました。

これまで献血をご遠慮いただいた既感染者の方のうち、前述の条件に該当する方については、献血にご参加いただけるようになります。

あなたには  
人の命を助ける力がある

赤十字奉仕団の一員として  
献血の普及啓発活動にご協力をお願いします。

ご清聴ありがとうございました。



**最後にアンケートにお答えください**



**<https://forms.office.com/r/DTXK5ZXm8E>**

**本日中のご回答にご協力ください**